

○酒井庸行君 次に質問させていただくのは、リニア開通に伴う名古屋駅周辺のまちづくり構想についてお伺いをいたします。

ここ最近、東京では渋谷駅の開発、そして大阪もそうであります。大阪の再開発もすばらしいものがありまして、もう本当に驚嘆をするというか、すごいな、いいなと私は思う次第でありまして、つい最近、東京駅の八重洲口に超高層ビルを建てて、その地下にバスターミナル等を整備するというお話も聞きました。そういうことを聞いて考えていきますと、名古屋も、名古屋駅の周りのまちづくりというのは、リニアが来るということで少しずつ動き始めてきておりまして、私たちとしては、何とか東京や大阪に近づけるようなすばらしいまちづくりをしていきたいというふうに実は思っております。

これは名古屋駅、愛知県だけの問題ではなくて、先ほどのこともそうありますけれども、中部圏全体のことにも大きく関わってまいりますし、メガリージョン構想もあります。そういう意味では大変重要だというふうに思っておるものですから、日本の重要なターミナルとしての機能性を持たせる、あるいはスーパーターミナルを私たちとしては目指したいというふうに思っております。

ただ、しかしながらなかなか難しい。利便性の問題を考えただけでも、JR東海、あるいは近鉄、名鉄、あるいは地下鉄というのがありまして、この乗り入れ等もなかなかうまくいっていないようであります。本当は、ぴしっと一本、線をそろえて乗り入れができるように、また歩行者がスムーズにいくようにやれるのがいいなというふうに思っているんですけれども、今のところ、構想を見るとまだ階が違うような雰囲気もあるので、本当は一つのところに一本に線をそろえるといいなというふうに実は思ったりもします。

こういう状況の中で、是非とも大胆に進めていただきたいんですけれども、国の支援というのがここは不可欠だと思います。実際には名古屋市あるいは愛知県が進めるんですけれども、やはり国からの強力な御支援、アドバイスというものがなくなかなかうまく前に進まないというふうに思うものですから、その辺はどんなふうにお考えになっているか、お伺いしたいというふうに思います。

○政府参考人(栗田卓也君) お答えいたします。

名古屋駅、既に現在でも多くの駅が集中しておりまして、一日に約百十万人の利用の名古屋圏最大の交通ターミナルでございます。この先、国土形成計画にも位置付けられました今委員御指摘のスーパーメガリージョン、そういったことの形成を支えていくリニア中央新幹線の新駅もその周辺に設置されることが見込まれているということでございます。二〇二七年のリニアの開業に向けまして、名古屋駅周辺では更なる利用者の増が、あるいは往来の増が見込まれるというふうに考えております。

他方、課題も幾つかあると考えております。既に幾つか御指摘のとおりでございますけれども、例えばで申しますと、名古屋駅は南北に長い形状を成しております。したがって、駅の東側と西側の土地利用の状況が相当違います。駅の西側の土地の高度利用を図っていくということも一つの課題かと思っております。また、地下空間見ますと、段差が多い、あるいは複雑な動線で少し分かりにくいといったようなことも改善の余地があると思っております。また、将来に向かいますと、リニアが入ってきましたときには、リニアから各路線、あるいは、今御指摘のとおり、路線間の乗換え利便性を確保していく、こういった幾つかの課題認識を持っております。

このような土地利用、交通施設にまつわる課題を認識をしておるところでございます。

○酒井庸行君 ありがとうございます。

実は、この二十八年度概算要求の中に都市局の関係のところにありますけれども、誰もが分かりやすく使いやすい拠点駅等の歩行空間の構築というのがあります。こういうものがありますので、これが国から出ているということは、やはりこの辺を踏まえてしっかりと名古屋市や愛知県の方にもアドバイスをお願いしたいと思っております。

そこで、この構想を進めていくということになってきたときに、非常にいろんな意味であるわけですが、防災性も高くなきゃいけないとか、あるいは国際的な広域的な役割を担う圏域拠点であるということも含めて、いろんな形の中で、愛知県あるいは名古屋市、周りの周辺で検討委員会というのが幾つかつくっていらっしゃるというふうに聞いております。

そこで、先ほど申し上げましたように国のどうしてもアドバイスが要るんですけれども、最終的な決定機関というのはどこに置いて、同じようなことですが、国としてはどのように関わられていくということをお聞かせをいただきたいのと、スケジュールをお願いしたいというふうに思います。

○政府参考人(栗田卓也君) 名古屋駅周辺のまちづくり構想の実現に向けまして、名古屋市では幾つかの懇談会、あるいはプロジェクトごとの調整会議を設置しております。それぞれ連携しながら作業を進められておるところでございます。これらの懇談会、会議を運営し取りまとめる、これは一義的には名古屋市ということかと存じております。

国土交通省としましては、例えば名古屋駅周辺まちづくり推進懇談会というものがございますけれども、中部地方整備局の副局長あるいは中部運輸局の次長が委員として参加しております。一つ一つのテーマに即しまして市からの要請に応じる形で参画させていただいております。市と一体となって議論をさせていただいております。

タイムスケジュールについてのお尋ねがございました。名古屋市からは、来年度に構想を具体化する整備計画を取りまとめたいというように伺っておるところでございます。

○酒井庸行君 時間がありません。大臣、一言だけお願いを申し上げたいと存じます、この名古屋駅構想について。

○国務大臣(太田昭宏君) 名古屋は、東京、大阪とともに三大都市圏の重要な拠点エリアと思っています。リニアが通るということを一つの契機として、都市周辺の再開発ということが極めて重要だと思っています。

名古屋は東西に駅があるように錯覚しがちなんですけど、南北にあるということと、非常に線路がいろいろ入り組んでいるというような状況もありまして、よく国交省も主体の名古屋市とも相談をしながら手伝える部分は手伝わなくてはならないと、このように思っておりまして、更なる発展ということを期しているところでございます。